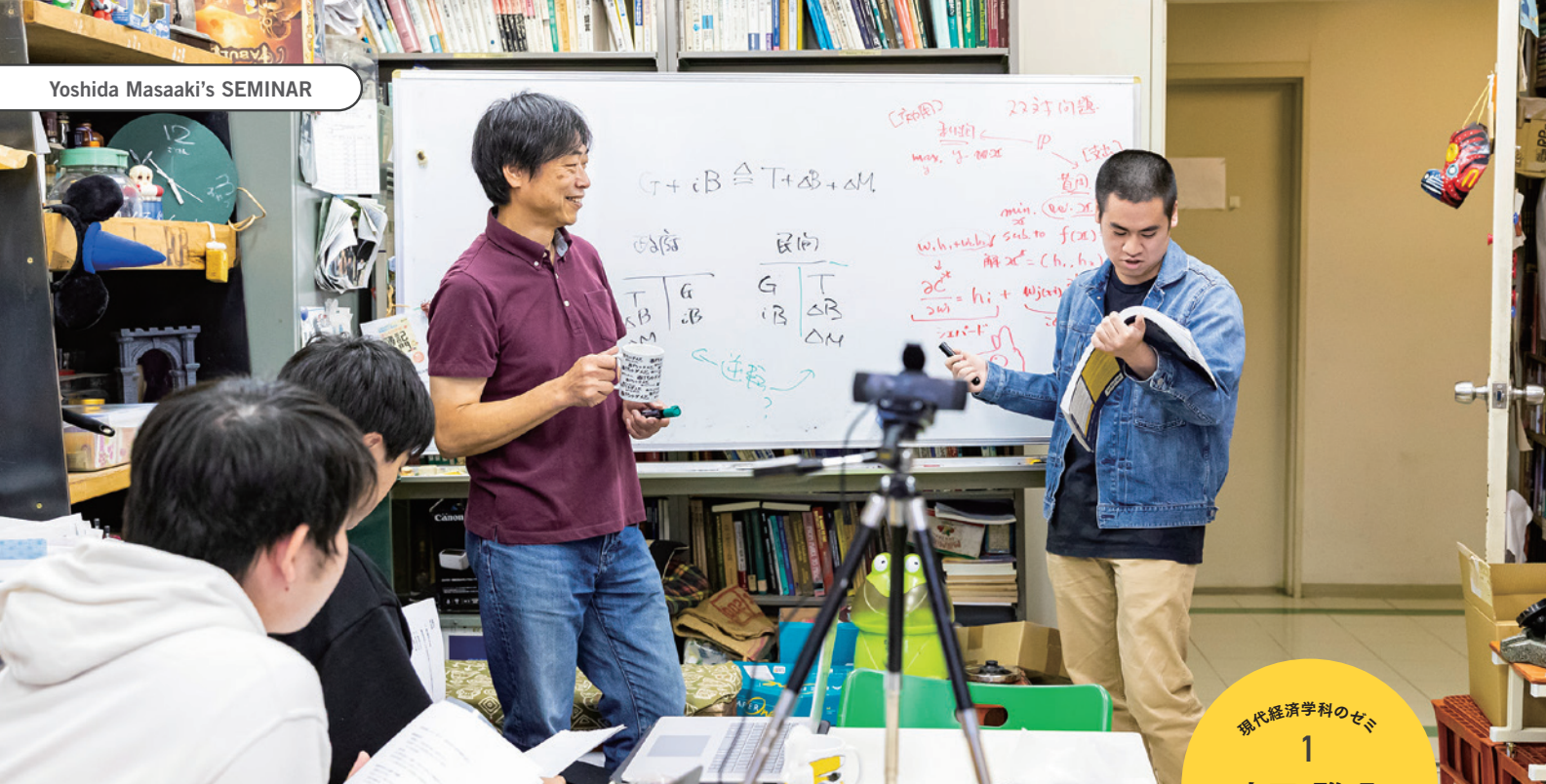




現代経済学科のゼミ
1
吉田 雅明
ゼミナール



現代経済学科のゼミ
2
河藤 佳彦
ゼミナール

現代経済学科のゼミナール

Department of Economics SEMINAR

進化経済学から見えてくる
経済社会と経済理論

吉田 雅明 教授

進化経済学のゼミナールでは、制約された予算下において最適選択を行うという意味での合理的主体や市場均衡といった標準的な経済学の想定を離れ、経済社会を有限能力主体が不可逆的時間下で相互作用を展開するシステムとして捉え、その理論や実践方法を扱っています。そこでは、皆に共有された行動パターンとしての「制度」が重要になってくるのですが、一つの国全体に根づく大規模な制度としての「貨幣」とはどういうものか、R.WreyらによるMMTのテキストなどを活用しながら検討しています。ずいぶん風変わりなジャンルだとは思いますが、こういった分野も学ぶことができるという多様性も現代経済学科の魅力の一つだと私は考えています。



様々な経済学を
根っこから考える楽しさ

2年 土田 健太郎 さん

吉田先生のゼミナールでは、「経済を理解するための道具」としての経済学に焦点を当て、主流とされる経済学とは少し異なった分野について学んでいます。どちらかというと「異端」の経済学といえると思います。しかし、その「異端」の経済学を学ぶことによって、主流の経済学の問題点や経済学という学問の多様性についても認識することができます。このゼミナールでの学びを通して、既存の主流経済学をただ無批判に受け入れるのというのではなく、「異端」の経済学と照らし合わせ、双方の問題点を理解することにより、経済学が世の中の経済を理解するためのより良い道具になるにはどうすればよいかを考え、自分の意見を持つことができるようになります。



グループワークを通して、
実践的な能力を鍛える

4年 小林 虹輝 さん

ゼミナールでは、地域の資源を活かした地域経済・産業の振興方策を学んでいます。卒業論文のテーマを2年次から設定し、文献調査やディスカッション、プレゼンテーションなど様々な活動を通して、実践的な能力を鍛えることができます。それに加えて、2年次から3年次にかけてフィールドワークなどをふまえた共同研究に取り組むことによって、4年次にはスムーズに卒業論文を作成し、完成へと向かうことができます。さらに、就職活動では、河藤先生が自らの公務員経験を活かして進路の決め方や上手いかなかった時の心の保ち方、社会人のマナーなど、様々な助言をしてくださることも大変ありがたく、このゼミナールの魅力の一つだと思います。



地域経済・産業の内発的発展の本質と
その振興方策について考える

河藤 佳彦 教授

ゼミナールでは、経済・産業を地域独自の視点から捉え、その地域の資源を活かして自律的な発展を促進する方策について学び、自分たちで考えることを基本のテーマとしています。学生たちは、地域の個性や優位性を活かせる産業を発展させるためにはどうしたらよいか、まちづくりや企業誘致の方策など、多種多様な研究テーマに取り組んでいます。自身の専門分野の学習、フィールドワーク、ディスカッション、プレゼンテーション、共同研究や個人研究など様々な活動を通して課題を発見し、それを解決する能力を身につけていきます。そして、大学卒業後も社会で活躍できるようになるための実践力を体得することを最終的な目標にしています。

